

## 「第3回おでかけ交通博 2016in やまがた」開催について (東北運輸局)

東北運輸局では、平成28年11月11日(金)に山形グランドホテル(山形市)において、「第3回おでかけ交通博 2016in やまがた～みんなで「おでかけの足」を考えませんか～」を、福島大学との共催により開催しました。

「おでかけ交通博」とは、地域の「おでかけの足」のあり方を考えるきっかけとするべく、地域公共交通の活性化や交通まちづくりなどに頑張っている団体の方々に、ブースにて各々の取組み内容を1枚のポスターにまとめてわかりやすく説明いただき、成果や悩みなどの共有を図るポスターセッションです。平成26年度に福島市で初めて開催し、官学連携での開催が好評であったことから、昨年は弘前市で開催、通算3回目となる今年は山形市で開催し、これまで最多の23団体からの出展がありました。



当日は、約160名の方々が集い、東北運輸局の尾関局長による主催者挨拶で幕を開け、福島大学の吉田准教授のミニ講演、各団体による1分間のPRタイムの後、メインとなるコアタイムでは、来場者と説明者が、対面で地域公共交通に関する情報や知恵を共有するとともに、活発な意見交換が行われました。7月1日に民営化され仙台国際空港など初出展団体の新たな取組みにも興味深いものが多数あり、会場を大いに盛り上げました。

また、来場者と出展団体、「地域公共交通東北仕事人※」との交流も深まり、人的ネットワークの構築の良い機会ともなりました。最後の「仕事人の時間」では、仕事人の皆さんから、お気に入りの取組みに対して「のりたろうシール」をポスターに貼るとともに一言コメントをいただき、各取組みに対する講評をしていただきました。

※詳細は下記 web ページをご参照ください。

<http://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/ks/new%20page/ks-sub06-2.html>



「仕事人の時間」終了後は、出展者、来場者、主催者、希望者が誰でも参加可能な交流会を実施し、前回は遙かに上回る90名以上の方々が参加し、地域の公共交通に対する思いを語り合い、たいへんな盛況となりました。

また、今年初めての試みとして、当日早朝に山形市や中山町のバスに乗車するエクスカーションを実施し、地域の公共交通事情を体験していただきました。

参加者からは、あらためて「おでかけの足」を考えることの必要性を実感できたと大変好評でした。



#### 〈当日のプログラム〉

- 主催者挨拶 東北運輸局長 尾関 良夫
- 開催主旨説明 福島大学人文社会学群経済経営学類准教授 吉田 樹
- 1ミニッツPR（各出展団体から1分間のPRタイム）
- コアタイム（各ブースで出展者がポスターを用いて取組内容を説明。聴き手側からの質問・意見、仕事人等からのアドバイス等を行う。）
- 仕事人の時間（地域公共交通東北仕事人による高評価を示す「のりたろうシール付与&ひとことコメント」）
- 閉会后、交流会を実施
- 出展団体
  - 山形県 ■大郷明治交通サービス運営協議会・山形市・中山町
  - 鶴岡市地域公共交通活性化協議会 ■NPO 法人かみのやま福祉輸送サービス
  - フラワー長井線利用拡大協議会 ■山交バス
  - 弘前市弘南鉄道大鰐線存続戦略協議会 ■八戸市都市政策課交通政策グループ
  - 八戸公共交通アテンダント「はちこ」 ■青い森ウェブ工房 ■弘前大学 大野悠貴
  - 岩手県北上市 ■宮城県大崎市 ■フタバタクシー ■仙台国際空港
  - 福島県福島市・福島交通 ■福島県郡山市 ■福島県会津若松市
  - 金川町・田園町住民コミュニティバス運営協議会 ■ナビタイムジャパン
  - らくもび ■福島大学経済経営学類吉田ゼミ ■東北運輸局交通企画課

